

第6回「関川流域委員会」報道結果

住民意識調査実施へ

関川流域委員会 水系整備計画に反映

上越地域を流れる関川水系の整備計画に住民の意見を反映させるため、関川流域委員会（委員長・小池俊雄東大大学院教授）は十八日、上越市内のホテルで会合を開き、本年度に住民意識調査を行うことを決めた。

同委員会は、二〇〇一年に国交省北陸地方整備局が設置。メンバーは、学識経験者や首長、市民グループ代表ら二十人。委員からは「調査範囲はできるだけ広くしてほしい」「上流と下流では住民の意見が違ふと思う

が、どう集約するのか」などの意見、要望が出された。具体的な調査項目は今後、検討する方針。

調査は、各市町村、各町内会の協力を得て実施し、集計結果を国交省高田河川国道事務所のホームページなどで公開予定。また、委員会では、防災と環境問題についての専門分科会を設置し、テーマごとに議論を進めることを確認した。

小池委員長は「時間はかかるが整備計画の新しい試みとして取り組んでいきたい」と話した。

2003年6月20日(金)
「新潟日報」23面